

*** メールマガジン No.127 - 2011.2.2***

*** NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.127***

読者の皆様、毎々の購読有難うございます。

【自転車？】

一昨年のニュースに「電動アシスト自転車の2008年の国内出荷台数は前年比12%増の31万6千台で、5年前の2003年に比べると48%増加し、排気量50CC未満の原付バイクの出荷台数を抜いたという。自転車総出荷台数に占める割合は6.5%に上昇。健康ブームやエコ気運の盛り上がり、ガソリン代節約などが購入動機だが、坂道の多い観光地でも貸出サービスで採用するケースも増えているという。」

がありました。

最近目にしたニュースでは、電動アシスト自転車がより加速度的に普及しているとの事です。

電動アシスト自転車・・・？ 健康志向・・・？ エコ・・・？

便利グッズ、楽であれば良い、ヘルメットの着用義務がないから、不景気だから・・・

普及しているのでは？

電動アシスト自転車を「自転車」の括りにして良いのかな？

「健康志向」？ アシスト付きで自転車に乗って、何が健康？ 自転車に乗らないよりもマシですが・・・

「エコ」？ 電気で充電してどこがエコ？

「健康志向」や「エコ」という言葉は、電動アシスト自転車に関して使ってほしくない。

電動アシスト自転車を自転車の仲間と捉えてほしくない。

電動アシスト自転車は原付バイクと同じでしょう！

運転免許証取得義務とヘルメットの着用義務化の上で、スピードの制限付き電動アシスト自転車の普及に努めるのであればまだしも、

現行の道路交通法や各条例では、

小さな子供を乗せ、道路交通法も把握していない（運転免許無し）運転者が、道路が危険と判断し、歩道を走れる訳です。

そして、その電動アシスト付き自転車は、そういったスピードが出る訳です。

こんな危険な事を野放しにしている良い訳がない。

事故の多発、その結果死人が出れば、たちまち「自転車」は危ない！となります。

この「自転車」とは、我々が愛する「自転車」です。

自由に楽しめる移動のお道具「自転車」に、様々な規制がそのうちにかかるのでは・・・。

道路交通法を守らない、マナーが悪い、安全管理しない、自分勝手な自転車利用者

時流にのっかり利益を追求する自転車関連企業と

人柱が入らないと動こうとしない行政

これらの相乗効果の結果、我々の自転車利用の自由まで奪われかねない。

自転車の社会的地位向上など、夢物語になってしまう・・・。

今回は、ぼやき でした。

佐原

「安全、安心、快適な自転車利用」

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎

*** メールマガジン No.128 - 2011.2.11 ***

*** NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.128 ***

読者の皆様、毎々の購読有難うございます。

【自転車？その2】

前回に引き続き「自転車？」の第二弾です。

先日、少し寒波が緩み、久しぶりに軽く自転車で一走りと近くの公園（日々の練習コース）に出かけました。

1 月はほとんど自転車に乗っていなかったもので、やはりペダリングが・・・重い・・・？ 2Kg リバウンドの体が、重い・・・？。

適当に走り、いつもの休憩場所で休んでいると、

真新しいママチャリに乗った中学生（ひょっとしたら高校生）くらいの女の子から、

「おじさん！ おじさんの自転車カッコイイねえ。」

「この自転車、こないだ買ったの。楽チンやから、どこまでも走れるわ！！」

と、満面の笑みで話しかけられました。

何んや、気さくに「おじさん」と言いよって・・・ と一瞬思いましたが、来年還暦をむかえる身。

「おじさん」と呼ばれても仕方がない。「おじいさん」よりマシか・・・。

屈託のない彼女の笑顔に、「貴女の自転車もカッコええな。買ったてか？ ピカピカやなあー。」

と、こちらも笑顔で返し、暫しお互いの自転車談義で、体が冷えるのも忘れ、一時を過ごす事に。

都会にも、こんな純粹で人見知りしない子もいるのだなーと思いながら、彼女の勧めで彼女の真新しい「ブリジストンの Albelt ロイヤルエイト」を試乗する事に・・・。

ロードバイクに乗りだしてからは、ママチャリなど乗れるものか！と置いていましたが、彼女の新しい自転車を手に入れた嬉しさや楽しさいっぱいエネルギーに押切られ、乗った訳ですが、まさに目から鱗！

「ブリジストンの Albelt ロイヤルエイト」！

ママチャリと呼んではいけない。立派な「自転車」です。

軽量アルミフレームにベルトドライブ+内装 8 段変速搭載のアルベルトラインナップ中ハイエンド通学自転車。

この自転車は、なかなかの優れモノです。

当然、我々が拘るロードバイクと比べる事はおかしな事で、シティユースとして素晴らしい自転車です。

見知らぬ自転車乗りのおじさんをつかまえて、自分の自転車の自慢をしたがる彼女の気持ちは十分理解出来る。

試乗させてくれたお礼に、「NPO KEEP LEFT」と「安全・安心・快適な自転車利用」に関する説明をしました。

別れ際、「事故せんように、気を付けて走りや！今日は、ありがとう！」と声をかけると、

「ありがとう！おじさんも頑張って！ケガしたらあかんで・・・！」

また「おじさん！」若い子に「頑張って」と言われ 何とも・・・自分の歳を再々認識させられ、

「ケガしたらあかん・・・」・・・？ 安全優先を称える当の本人が、ヘルメットをかぶっていない・・・ 理事長失格か・・・？

*言い訳ですが、日頃の練習ではスピードは出しません。車の進入がない公園内を十分な安全確認をし走りますのでヘルメットは着用していません。

歳とヘルメットの事で少しへこ（凹）み、若い子でも素直な子がいるものだと爽やかな思いと、シティサイクルにも優れモノが・・・特に「ブリジストン自転車」さん頑張ってはると思えた、久しぶりの 25Km でした。

*日頃、自転車に乗る私の事を、厳ついとか怖いとかと評する会員の皆様へ

上記の彼女との出会いの時には、サングラス無し、サイクルジャージではなくダウンジャケットにぼんぼり付きニット帽でした。

バリバリのロード用の格好をしていなければ、優しそうで話し易そうな普通のおじさんなんですよ・・・
(ピースサイン！)

異議の有る方は、事務局までメールでお願いします(笑)。

ご参考までに

BS 自転車さんが発売する優れモノ(佐原が現物を試乗しての判断で)

「ANCHOR シリーズ のカーボンロードバイク(特にアンカーWomen)」

*小さなサイズのラインナップは見逃せない、身長の高い方や女性には最適
それと、自分だけの一台がオーダー出来る

「ANCHOR シリーズ のクロモリロードバイク」

*Neo-Cot フレーム、バルジ成型は世界に誇れる技術 やはりロングツーリングはクロモリ 但し、太めのアヘッドは似合わない

そして、「通学自転車 Albelt ロイヤルエイト」

*軽量アルミフレームにベルトドライブ+内装 8 段変速搭載は、車重は重い(20.8Kg)ですがシティユースとしては快適!

コストパフォーマンスも OK!

試乗はしていないが、「通勤自転車 Prestino PR78BT」も気になる存在

しかし、この自転車が 2008 年度グッドデザイン賞受賞とは・・・、悪くはないデザインだが・・・申し訳ないがグッドデザインとは思えない

佐原

「安全、安心、快適な自転車利用」

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎

*** メールマガジン No.129 - 2011.2.15***

*** NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.129***

読者の皆様、毎々の購読有難うございます。

【自転車利用者】

自転車利用者にも色々な利用目的があります。

ある人にとっては、買い物や近場へのお出かけ用の便利な移動のお道具。[1]

ある人にとっては、子供を保育園や幼稚園に連れて行く移動のお道具。[2]

ある人にとっては、通勤や通学の足としてのお道具。[3]

ある人にとっては、メタボ解消&有酸素運動のお道具。[4]

ある人にとっては、体力の限界や気力の限界を追求するお道具。[5]

ある人にとっては、気晴らしや趣味としての楽しみのお道具。[6]

そして、これら個々の目的が個人個人で複数存在します。

[1] から [6] まですべてを目的にされている方は少ないと思われませんが、

[1] から [3] と [4] から [6] では、その目的の根本が異なっています。

[1] から [3] の目的だけで自転車を利用される方は、「便利」「手軽」「安価」がキーワードでしょう。

[4] から [6] の目的だけで自転車を利用される方は、「健康」「自己追求」「拘り」がキーワードでしょう。

多分・・・。

しかし、「自転車利用の安全・安心・快適」は、何れの目的にも共通する大切な事です。

それぞれの目的に即した車種（自転車）の開発・製造・販売や行政の取組みは、「自転車利用の安全・安心・快適利用」を第一に進めて頂きたいが、それより問題は自転車を利用する利用者の「安全・安心・快適」に関する意識や認知度の低さです。

道路交通法上では歩行者の次に交通弱者と位置付けされる「自転車」で、「安全・安心・快適」に関する意識や認知度の低い利用者が勝手気ままにそこら中を走り回る。

信号無視、並列走行、不法駐輪、逆行、安全運転義務違反・・・。

何とも困った有様です。

世の中の多くの人達の立ち居振る舞いが、宜しくない。

これは、自転車利用者に限った事ではない。

車に乗ろうが、電車に乗ろうが、外で食事をしようが、お酒を飲もうが、買い物しようが、自宅から一歩外に出ると、

親御さんからの教育が出来ていないガキとお育ちを疑う様な常識の無い大人が、増えた事。

言葉を変えると、『横着者』が増えた事。

！！

文章を創る流れで、思わず出ました『横着者』！ *横着

*「横着」とは・・・ 辞書には

①わがまま。ずうずうしい。ずるい。生意気である。

②するべきことをわざと怠けること。楽をしてすまそうとすること。

「横」は「無理やりな」「強引な」「乱暴な」身勝手な振る舞い、自分勝手な言動という意味らしい。

「着」は、「身につける」「到着する」という意味とのこと。

「横」が使われる熟語は、大概が良い意味ではありません。「横領」「横暴」「横柄」「横行」「よこしま」・・・ 自転車も、横並びはダメ！

身勝手な立ち居振舞いを身に付けた人達が自転車に乗る！

『横着者が、自転車に乗る』！！

宜しくない！！！！

今回もボヤキ・・・。

ボヤいていても仕方がない。

『横着者』の自転車利用者を*諫める（*この場合は、「禁める」が適切かな）為に、我々NPO KEEP LEFT の仲間だけでも、良いお手本として「安全・安心・快適な自転車利用」に努めましょう！

[4] と [6] の目的のため、暖かくなるのを待ちながら自転車を磨く毎日です。

佐原

「安全、安心、快適な自転車利用」

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎